



生活者ネットワーク 国分寺市議会議員 TAKE FREE

マサーヨがゆく vol.14

日々の暮らしと政治はつながっています。これは、マサーヨこと小坂まさ代が、市政のことをより身近に感じていただけたらとの思いをこめて、仲間たちと作ったレポートです。ひとりひとり各自が楽しく生きていける社会にしていけるために、あなたの声を聞かせてください。



Instagramもぜひご覧ください @masayokosaka

今回は、カフェラパンさんにおじゃまします！

夏休みだよ！ 出張！マサーヨがきく

2026/7/25 (土) 13:00 ~ 16:30

どなたでも大歓迎！ご予約不要！

おとなも子どもおしゃべりしにお立ち寄りください！



都議会議員 岩永やすも 一緒にきくよ！



@café lapin 東恋ヶ窪 2-36-18 西武バス向ヶ丘バス停すぐ



お問い合わせフォーム <https://kokubunji.seikatsusha.me/contact/>

※お店へのお問い合わせはご遠慮ください

講演会のお知らせ

あたりまえを問いなおす

「地域で学ぶことは、地域で生きること」～人生を1本の幹に

障害の有無にかかわらず共に学ぶ公立学校の環境で育った

鍛治克哉さん (大阪府豊中市出身) のおはなし

2026/07/19 (日) 14:00 ~ 16:00

- 都立多摩図書館セミナールームにて ●資料代 300円
- 手話通訳ご希望の方は7月10日までにお申し込みください



小坂まさ代 暮らしのエッセイ

「麻のジャケットと西麻布の夏」



30代の頃、小さなデザイン会社で働いていた。きっかけは、以前お世話になった先輩から「経理の担当者を探しているの。やっていない？」と声をかけてもらったことだった。

「デスクワークはほとんどやったことがなく、パソコンも得意ではありません。」と返事したのだが、「向いていないとは思わないし、お金のことだから、できる人よりも信頼できる人にやってほしいの」という言葉に心を動かされ、その会社で働くことに決めた。

自分では向いていないと思っていたデスクワークだったが、銀行や取引先とのやり取りや、数字から見える会社や社会の動きが面白く感じられた。職場はアットホームで居心地がよかった。

楽しく働いていたあるとき、人生を変える出会いがあった。頭では、そのドラマチックな展開を楽しんでいたはずだった。しかし、妊娠、出産、子育てという別世界に放り込まれ、身体の変化に心がついていけないまま、時間は過ぎていった。みるみる体重が落ちていき、会社を休んで1年後にばったり会った知人に声をかけても、誰だかわかってもらえないほどだった。会社はずいぶん遠くに感じられ、「これは夢で、目が覚めたらまた戻っているのかもしれない」とささ思っていた。

母や義母の助けを借りながら、ようやく食事の味がわかってきた頃、職場に復帰。子どもと離れ、胸の張りを感じながら朝の満員電車に乗ることに何とも言えない喜びを感じていた翌年、第二子を妊娠。再び育児休業をとらせてもらったが、復帰後すぐ、図々しくも「他にやりたい仕事を見つけたので辞めさせてほしい」と伝えた。新しい職は、その会社での経験がなければ、得られなかった仕事だった。

長くお世話になったのに大した貢献もできないまま会社を去ることになり、本当に申し訳ないと伝えると、「あなたがいたから、ここまでやってこれたのよ」と思いもよらない言葉をかけてもらい、涙が止まらなかった日のことを昨日のことに思い出す。当時よく着ていた麻のジャケットに袖を通すとき、西麻布のあの夏の空気がふっと戻ってくる。

仕事とは、誰かに必要とされた記憶に支えられて続いていくものなのかもしれない。

「子どものとうひょう おとなのせんきょ」 作・絵：かこさとし 復刊ドットコム



1983年に童心社から出版され、その後絶版となっていた絵本が2016年(18歳初選挙の年)に復刊。「この本は、少数でもすぐれた考えや案を、狭い利害や自己中心的になりやすい多数派が学び、反省する、最も大切な『民主主義の真髄』をとりもどしたいという願いでかいたものです。」という初版のあとがきに書かれた文章が頭から離れません。

小坂まさ代 国分寺の暮らし

第一子の妊娠中、壁一面作り付けの本棚のある古いアパートと出会い、国分寺に転居。ふたりの娘に親として育てられている。2021夏の市議補選で初当選。2023春の統一地方選では6位当選。国分寺をより暮らしやすいまちにと、子どもも含めた市民の声を市に届け続けている。泉町在住。総務委員会副委員長、国分寺駅・西国分寺駅周辺整備等特別委員会委員、議会運営委員会委員、浅川清流環境組合議員。

生活者ネットワークの活動

市民による市民のための地域の政治団体です。現在、3人の市議会議員(高瀬かおる、小坂まさ代、松岡まり)と都議会議員(岩永やす代)が市政と都政連携して活動中。お話し会、調査活動、学習会など楽しい活動がたくさん！お気軽にのぞいてみてください。



マサーヨ語録

6月の一般質問でのマサーヨの発言の中から印象的なものをピックアップ！ これからも暮らしの中から声を届けていきます。



一般質問の様子を8月末まで動画で見ることができます。ぜひご覧ください

だれでも学びやすい学校に



特別な支援が必要な子どもたちが増えています。四小さつき学級(※1)の子どもは、今年59人。令和2年の28人から、ほぼ2倍になりました。教室をカーテンで区切るだけでは音や人の動きが気になって、つらい子もいます。安心して学べる場所が必要です。



空いた教室を直して学びやすくする予定です。市内で2つ目の特別支援学級をつくることも考えています。



遠くから通っている子もいます。子どもたちが安心してできるよう、できるだけ早く進めてください。



起立性調節障害は、「朝起きられない、めまいがする、頭が痛い、体がとてもしんどい」などの症状が出る病気です。でも、「なまけている」と誤解され、学校に行けなくなってしまっている子もいます。



学校では、先生たちにこの病気のことを伝えて登校する時間を相談したり、保健室やサポート教室を使ったり、タブレットなどで学べるようにしたりしています。



先生、保護者、子どもたちにも、もっとこの病気のことを知ってもらいたいです。子どもが学校に合わせることができず、学校も変わっていくことが大切だと思うのです。



そうですね。家庭と学校でよく話し合い、その子に合った支援ができるように、教育委員会も学校を支えています。



困っている子が何度もお願いしなくても学校が先に気づけるようにしてください。よろしくお願いします。

※1 さつき学級：自閉症・情緒障害のある子どもたちが通う学級。

教育長がわかりました

3期9年務めた古屋教育長からバトンを受け取ったのは、宮本学さん。



これまで国分寺市職員として子ども家庭部長や総務部長を歴任されてきました。これからも国分寺市の教育の方向性にご注目ください！

生活者ネットこくぶんじ No.189 小坂まさ代の活動を紹介します

発行日：2026年7月1日 発行：国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者：田中由紀

〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ 103 TEL: 042-328-1864

FAX: 042-328-1878 ☑ kokubunji@seikatsusha.net <https://kokubunji.seikatsusha.net>